

◆コミュニティ・スクール推進事業研修会（コミュニティ・スクール推進フォーラム 兼 第2回コミュニティ・スクール連絡協議会）

1 目的 学校と地域が一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」の充実方策について、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の有効的な取組に係る講演や事例発表をとおして、県立学校や市町における円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資する。

2 主催 滋賀県教育委員会

3 対象 (1) 公立幼稚園・小・中学校教職員、県立学校教職員
(2) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）関係者、学校評議員
(3) 地域学校協働本部・地域未来塾関係者・土曜日の教育支援活動関係者
(4) 放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ関係者
(5) 家庭教育支援活動関係者・子育て支援機関関係者
(6) PTA、県・各市町社会教育委員、公民館職員
(7) 各市町担当職員
(8) 学校と地域の連携・協働体制について関心のある地域住民 など



4 日時・会場・参加者数

○大津会場：令和元年6月14日（金） 13:30～16:45
滋賀県庁東館7階大会議室
参加者数 75名

○近江八幡会場：令和元年8月20日（火） 13:30～16:30
滋賀県立男女共同参画センター 大ホール
参加者数 130名

5 日程

○大津会場

□事例発表

「学校運営協議会の導入と立ち上げ」
滋賀県立伊香高等学校 校長 山田 薫 氏

□講演

演題：「コミュニティ・スクールの効果的な導入・推進に向けて」

講師：横浜薬科大学 教職課程センター
教授 梶 輝行 氏
元神奈川県教育委員会教育局総務室
県立高校改革担当課長
元中央教育審議会初等中等教育分科会
教育課程部会総則・評価特別部会委員

○近江八幡会場

□講演

演題：「これまでの地域連携を活かしたコミュニティ・スクールの導入・推進に向けて」

講師：文部科学省CSマイスター
ゆめ☆まなびネット 地域コーディネーター
大谷 裕美子 氏

□パネルディスカッション

テーマ「これまでの地域連携を活かしたコミュニティ・スクールの連携・協働について」

コーディネーター：大谷 裕美子 氏
パネリスト：北島 泰雄 氏（県CSアドバイザー）
三田村治夫 氏（高島市地域学校協働活動推進員）
平居 繁和 氏（湖南市教育研究所 所長）

□グループディスカッション[第2回コミュニティ・スクール連絡協議会]（両日・両会場）

6 概要

- ・大津会場では、高校や特別支援学校での取組から学んでいただくために、県内の高校から学校運営協議会の立ち上げに至る経緯や取組事例を発表いただき、講師の先生からは神奈川県立学校への全校導入に取り組んでこられた実践などをお話いただき、参加者の学びを深める機会となった。
- ・近江八幡会場では、「これまでの地域連携を活かしたコミュニティ・スクールの推進」をテーマに、これまで実践されてこられた学校・地域・行政のそれぞれの立場から実践例をお話いただき、今後の市町で取り組むべき方向性について御示唆いただいた。

7. 参加者のアンケートより

- ・グランドデザインの話があり、本校がどのような学校を目指すのか、本校の「売り」は何なのかを考える機会になった。
- ・コミュニティ・スクールを目指し、学校支援から連携・協働へとステップアップしていきたい。
- ・講師が「苦勞」に焦点をあててパネルディスカッションを進めていただいたのはありがたかった。また、「学校づくり」だけでなく、「地域づくり」も考えて進めることも大切だと感じた。
- ・地域福祉との連携という考え方を教えていただき、一つの可能性として持つことができた。

